AeroEdge PRESS RELEASE

2023 年 10 月 4 日

各　位

会社名　　ＡｅｒｏＥｄｇｅ株式会社
代表者名　代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳
（コード番号：7409　東証グロース）

AeroEdge の CO_2 削減に向けた取組提案が評価され、航空機エンジンメーカー大手 SAFRAN 社のホームページにおいて公開

AeroEdge 株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役社長：森西淳）はカーボンニュートラルに向けた資源循環に関する取組提案が評価され、航空機エンジンメーカー大手の Safran Aircraft Engines(本社：フランス・パリ、以下、SAFRAN 社)のホームページにおいて、その提案内容が公開されたことをお知らせします。

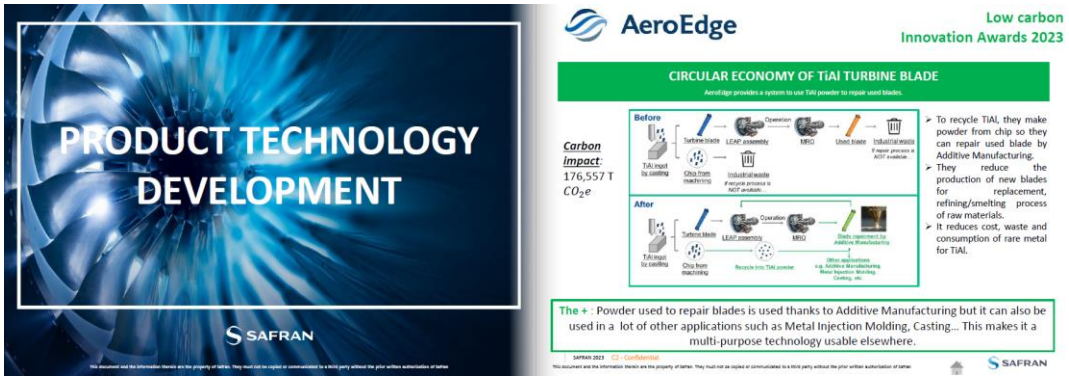
航空機産業では、国際民間航空機関（ICAO）*1や国際運行運送協会（IATA）*2が「2050 年までの CO_2 排出量ネットゼロ」を目標に掲げ、CO_2 削減目標策定と達成が強く求められています。また、当社の主要顧客である SAFRAN 社は、自社の Scope 1 及び Scope 2 を 2025 年までに 30%、2030 年までに 50%削減を目指す（いずれも 2018 年比）ことを宣言しており、当社も航空機産業に携わる一員としてこれらの取り組みに賛同し、2050 年カーボンニュートラルの実現へ向かって取り組んでおります。また 2023 年 9 月 20 日には当社ホームページにおいて CO_2 排出量に関する削減目標を公開いたしました。

そういった中、SAFRAN 社は“脱炭素への挑戦”の第一歩として SAFRAN グループ全体での脱炭素ロードマップを策定するため、先進的な取組を進める世界の主要サプライヤーに対して、ローカーボン実現に向けた革新的な取組への提案を求め、当社もその主要サプライヤーに選定されました。

当社はチタンアルミブレードの新たな材料開発をテーマに、「CIRCULAR ECONOMY OF TiAl TURBINE BLADE」と題して、チタンアルミ材の切削工程で生じた切粉（きりこ）をパウダー化し、これを独自の積層造形技術によりブレード補修に再利用する、資源の循環モデルを提案しました。この提案はリサイクルと製品技術開発の２つの観点から高い評価を得られ、「Safran Suppliers Decarbonization Innovation」として同社のホームページに公開されました。

・SAFRAN 社ホームページ(Decarbonizing operations: the best ideas from Safran suppliers):
https://www.safran-group.com/news/decarbonizing-operations-best-ideas-safran-suppliers-2023-09-28

*1：ICAO, LTAG for international aviation；https://www.icao.int/environmental-protection/Pages/LTAG.aspx
*2：IATA, Our Commitment to Fly Net Zero by 2050；
https://www.iata.org/en/programs/environment/flynetzero/



SAFRAN 社のホームページで公開された Flip Book より抜粋

当社は、引き続きカーボンニュートラル実現に向けた積極的な取組みを通じて、地球の持続的な発展に貢献して参ります。

＊＊＊

AeroEdge（エアロエッジ）は、世界の航空業界でナンバーワンを追求する技術集団です。栃木県足利市に本拠を置く 2016 年創業の小さな企業が、航空機エンジン製造大手のフランス企業（Safran Aircraft Engines 社）から次世代航空機用エンジン「LEAP」に搭載されるタービンブレードの国内初の長期量産サプライヤーに選定され、現在その生産拡大を加速しています。AeroEdge は製造業に軸足を置きながら環境の変化に迅速に対応し、常にリーディングエッジであり続けること、一人ひとりが自主性・創造性を発揮し、他人がやっていない新しいことに果敢に取り組み、新しい価値を創出すること、社会と人々の幸せに寄与することを使命に「ゼロからイチを創る」活動を推進しています。

https://aeroedge.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先：
AeroEdge 株式会社　IR 担当（https://aeroedge.co.jp/ir/inquiry/）